

肝臓病教室の勉強会の組織化

- ▶ 1992年 都立広尾病院で肝臓病教室を開始。
 - ▶ 2002年 「肝臓病教室のすすめ」を出版。
 - ▶ 2002年 慶應義塾大学大学病院への見学が始まる。
 - ▶ 2003年 全国版「肝疾患患者指導研究会」を開催。
 - ▶ その後3回開催。
 - ▶ 2005年 大阪地区で「肝臓病教室アドバイザーカンファレンス」が立ち上がる。
 - ▶ 2006年 東京地区で「東京肝疾患患者指導研究会」の立ち上がる。
 - ▶ 2008年 「和歌山肝臓病教室勉強会」
-

わが国における肝臓病教室の実施状況

調査時期 (年/月)	2003 6	2004 12	2006 9	2008 2	2009 4
実施施設	64	80	81	127	155
計画中	25	26	22		
関心・興味あり	188	237	108		
教室見学施設	27	55	72	94	106



患者にとっての肝臓病教室の効用

- ▶ 知っておくべき知識、知らない情報が得られる。
- ▶ 知りたい情報を自分の医療者より直接得られる。
- ▶ 医療者とのコミュニケーションができる。
- ▶ グループワークにより精神的安心感が得られる。
- ▶ 病気をかかえてより積極的な生活に目が向けられる。

-
- ▶ ▶ 医療者と患者の協働関係の構築

医療者にとっての肝臓病教室の効用

- ▶ 集団指導により効率よく情報を提供できる。
- ▶ グループワークで患者同士の情報交換を有効に活用。
- ▶ 精神的サポートにつながる。

- ▶ 医療者のコミュニケーション教育の場。
- ▶ 医療のチームワークが出現する。
- ▶ 医療者のやるきがでる。
- ▶ 地域医療との連携の場になる。

-
- ▶ ▶ 患者と医療者の協働関係の構築

「患者と作る医学の教科書」

総医研 2009年

- ▶ 患者の視点から病気はどのようにとらえられているか。
 - ▶ 患者会の皆さんに依頼し、原稿をかいてもらう。
 - ▶ 医療者がその内容を点検し、構成する。
 - ▶ 主観的な病態学

 - ▶ 模擬授業の開催
 - ▶ 2010年2月28日(日)
 - ▶ 慶應義塾大学信濃町キャンパス孝養舎
 - ▶ 医学生、看護学生、薬学生などを対象。
-

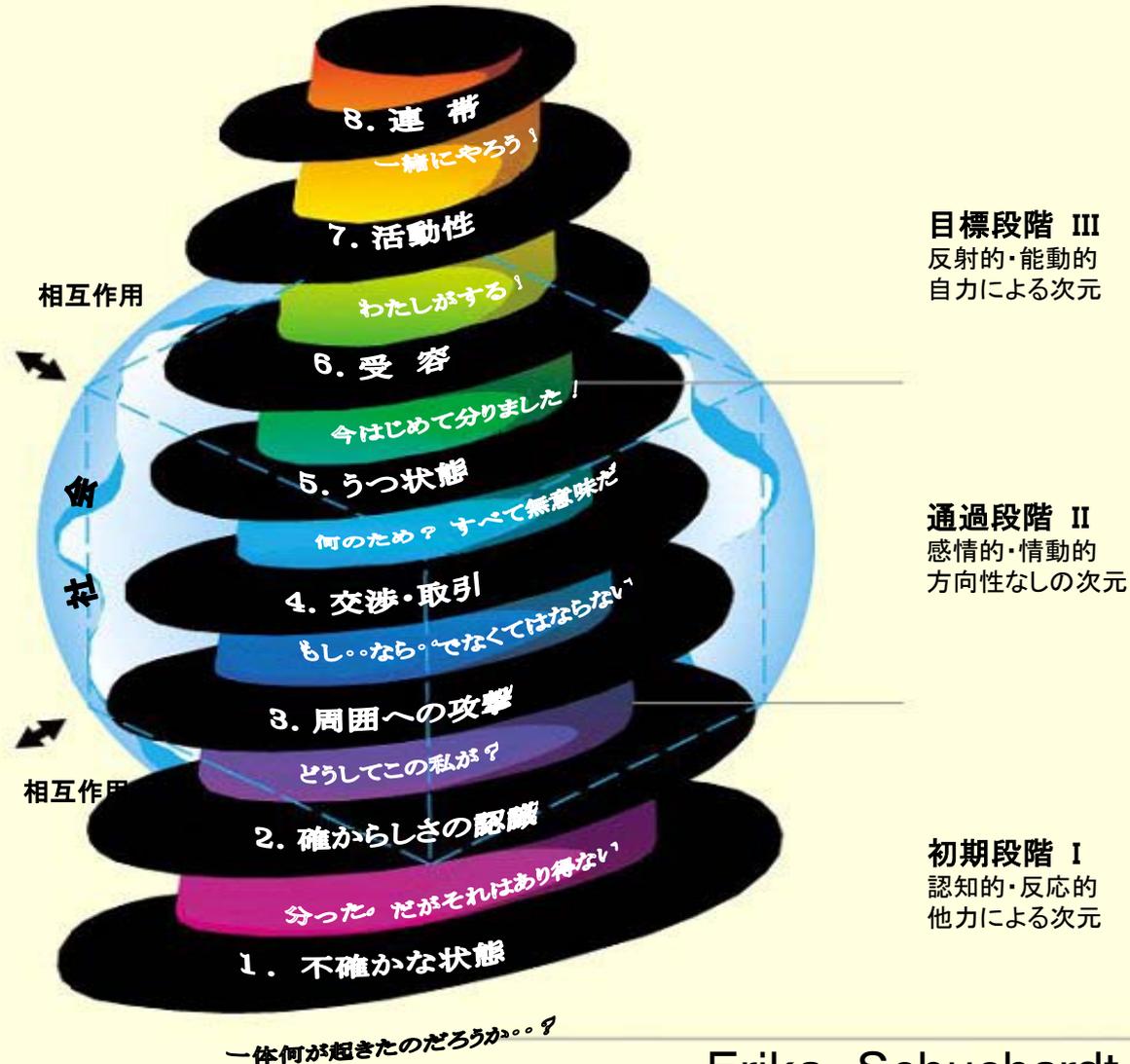
螺旋—魂の旅路のシンボル

社会との相互作用としての危機の処理



Stand
2003

1900



Erika Schuchardt 「Why me？」